

## 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画について

### 1. 建学の精神に基づく教員養成の理念

北海学園大学は、1885（明治 18）年の北海英語学校を淵源とする北海道最古の私立大学として 1952 年に設置された。北海道開拓の歴史と歩みをともにしながら、「開拓者精神」を建学の精神としてかかげ現在にいたっている。この自主独立の精神を基礎としながら、「開拓者精神」を 21 世紀において継承・発展させるため、本学では新たに「ミッション・ビジョン」が制定された（2021 年 9 月）。

本学の教員養成もこの建学の理念を具現するものとして位置づけられる。21 世紀の新たな社会の形成は、未来を担う人間の形成を通じてこそ達成される。現代の「開拓者精神」は、「自立」「自律」という 2 つの“じりつ”と同時に、他者への共感・他者との協働をとおして未来を創造していく人間の育成をめざすものである。

### 2. 求められる教員像

教員に求められる力量には、1) どんな時代にも共通に必要なとされるものと、2) 社会環境・時代の変化に応じて新たに必要とされるものがある。

1) としては、①教育者としての使命感、②成長・発達過程についての理解、③教育的愛情、④教科に関する専門的知識、⑤広く豊かな教養、⑥これらを踏まえた実践的指導力、があげられる。

2) としては、①地球的視野にたつて環境と人類のあり方について考え教育活動に活かす力、②変化の時代を生きる社会人として必要な力（未知の課題に挑戦・探求する力、学校内外の多様な他者と協働する力、情報通信技術の進展に対応した知識・技能など）があげられる。

本学の教職課程では、1) についての基本的な資質能力を共通かつ確実に身につけると同時に、多様な学習機会の提供を通じて 2) に関する知識・技能の育成をめざす。

### 3. 本学教員養成の特徴

本学教職課程から教員となる学生の多くは、北海道内の学校で職をえて働いている。これまで、道内の中学校・高等学校を中心として約 1,200 人(1989 年以降集計分)を超える教員を送り出してきた。道内各地で学校教員としてはもとより、地域づくりの担い手としても欠くことのできない役割を果たしている。

北海道が「求める教員像」として、地域と「連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員」の育成が掲げられている（北海道教育委員会「北海道における『求める教員像』」2017 年 12 月）。今後も引き続き、それぞれの持ち場で各人が「開拓者精神」を発揮し、学校づくり／地域づくりに貢献できる教員の養成に努めていきたい。